

【資料5】 今後のDX推進に向けた取組について(案)

デジタル化推進本部事務局
(経営戦略部 情報戦略課)

ICT活用の3つの基本方針

基本方針1 ICTを活用した“ミライのフツー”の更なる推進

基本方針2 安全・安心なICTの活用を推進する環境づくりの実現

基本方針3 ICTを活用したスマートな行政運営の実現

〈柱1〉 市民の安全・安心、利便性の向上を
徹底するデジタル化

〈柱2〉 いかなる状況にも弾力かつ迅速に対応する
デジタル・スマート市役所

〈柱3〉 ミライのフツーへのチャレンジを
加速するデジタル化

〈柱4〉 ミライのフツーを創造するデジタル化

〈柱5〉 デジタルを使いこなす組織・人の強靱化

〈令和3年度・令和4年度 全庁の取組方針〉

- 取組方針1 各種手続きの電子申請化
- 取組方針2 支払い手続きのキャッシュレス化
- 取組方針3 オープンデータの推進及びデータ活用

各部局の重点目標デジタル化施策

〈スマート窓口の方針〉 (第3回本部会議で議論)

- 本市が目指す方向性を明示
- 各部局はそれに基づいて取組を推進

各方針を推進するための基礎調査(事務局より依頼)

- 業務量調査(8月に実施)
 - ・全庁の業務量・人工等を把握
 - ・分析結果を後日、全庁へ展開予定(調整中)
 - ・各課が業務量分析や業務フローを作成できるツールを展開する予定(調整中)
- 電子申請に関する現状調査(9月に実施)
 - ・現状の電子申請化率や将来状況、課題を整理中
 - ・11月の本部会議にて結果を共有する予定
- 令和3年度重点目標(デジタル化施策)の上半期確認
 - ・各部局の取組状況を把握・整理(10月中めど)

全庁のDXを推進する仕掛け(検討中の事項)

- ①各部局の今後のDX方針等の提案
 - ・各部局からDXに関する将来像の提案
- ②デジタル化推進員によるDX検討部会の設置
 - ・若手職員によりDXに関する取組検討を実施
 - ・事前に推進員へアンケートを実施しアイデアを把握
- ③Eモニターへのアンケート調査
 - ・EモニターにDXで取り組んでほしいサービスなどのアンケートを実施し、各部局へフィードバック。
- ④業務量調査結果の活用(再掲)
 - ・分析ツール等を活用した各部局の業務分析の実施等

◆「方針」と「基礎調査」、「仕掛け」を単発感なく、連動させた一体的な取組として整理が必要

ICT活用の3つの基本方針

基本方針1 ICTを活用した“ミライのフツー”の更なる推進

基本方針2 安全・安心なICTの活用を推進する環境づくりの実現

基本方針3 ICTを活用したスマートな行政運営の実現

＜柱1＞ 市民の安全・安心、利便性の向上を
徹底するデジタル化

＜柱2＞ いかなる状況にも弾劾かつ迅速に対応する
デジタル・スマート市役所

＜柱3＞ ミライのフツーへのチャレンジを
加速するデジタル化

＜柱4＞ ミライのフツーを創造するデジタル化

＜柱5＞ デジタルを使いこなす組織・人の弾劾化

＜令和3年度・令和4年度 全庁の取組方針＞
＜スマート窓口の方針＞



各部署の重点目標デジタル化施策

今後の取組イメージ

＜目的＞

- 令和4年度及びそれ以降において、各部署が戦略的にDXを進めていける体制・環境を整備する。
- 常にDX方針・重点目標・予算を念頭においた取組が進められる体制・環境を整備する

＜具体的な今後の作業イメージ＞

①各部署のDX取組方針の策定

- 2ステップで策定することを想定。策定の視点は、「市民・事業者サービスの向上」「内部事務の効率化」
- 1ステップは、各部署の「DX将来像」・「必要な取組(この段で実現可否は問わない)」・「実現に向けたハードル」を整理。
- 2ステップは、1ステップ目を踏まえ各種基礎調査のデータ等を活用し、より具体的な方針へ昇華。

②整理スケジュールのイメージ

- 1ステップ目を年内をめどに整理し、2ステップ目を2月中をめどに整理する。
- これらの整理を踏まえ、令和4年度の重点目標(デジタル化施策)を整理する。
- 検討・整理内容は適宜、デジタル化推進本部・部長会議等に報告・議論しながら整理する。

棚田専門監・情報戦略課
デジタル専門人材で検討の
サポートを行います。

各部署の
活用データ
基礎とする

＜業務量調査結果＞

- 分析ツール・簡易手順書
⇒各部署・各課で詳細な現状の業務
時間、業務フローの整理等が可能

＜電子申請の取組状況＞

- 調査結果により、各部署・各課の
電子申請化率の明示が可能
- 全庁・部局ごとの課題等の明示

＜その他データ＞

- Eモニターからのアイデア、推進員
部会からの提案
- 事務局からの情報提供 等